

## 事業計画書(その1)

<p><b>団体の目的</b> *定款, 規約, 会則等に定めている目的を, そのまま転記してください。</p> <p>被災者・被災地の救援・復旧活動はもとより、効果的な災害ボランティア活動が行えるよう災害ボランティアコーディネーターの養成及び支援、災害ボランティアの活動を最大限に活かすことのできる仕組みの構築・維持に資する。</p>
<p><b>事業の分野</b></p> <p>保健, 医療又は福祉の増進      社会教育の推進      まちづくりの推進  観光の振興      農山漁村又は中山間地域の振興      学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興  環境の保全      災害救援      地域安全      人権の擁護又は平和の推進      国際協力  男女共同参画社会の形成の促進      子どもの健全育成      情報化社会の発展  科学技術及び学術の推進      経済活動の活性化      職業能力の開発及び雇用機会の創出  消費者保護      団体の運営又は活動に関する連絡, 助言又は援助</p>
<p><b>事業の概要</b> *事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>出前講座と炊き出し訓練で防災(減災)を学ぶ。また  実存する防災施設の視察体験から更に理解を深めて頂く</p>
<p><b>社会的背景と解決しなければならない課題</b></p> <p>*提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。</p> <p>3年間取り組んできた「わたしたちの地域の防災力を高めよう」のテーマから、たくさんの人に防災活動への理解を得ました。(アンケートから)しかし、たくさんの問題点も見えてきました。晴れの国岡山県は災害のない県;油断されている人はたくさんいることです。危険な状態になっても<u>指示があるまで動かない</u>。(人任せ)  <u>避難所に行ったら何でもある</u>。(行政待ち)  そのようなことから、たくさんの人達に出前講座を通して現状を正しく理解して頂き、しっかりとした防災対策を押し進めて行きます。</p>
<p><b>受益者の範囲</b> *提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。</p> <p>倉敷市民のみなさん      特に災害弱者となる高齢者には理解させたい</p>
<p><b>事業の成果</b> * の課題に対して, 事業を実施することで得られる成果とは何ですか。</p> <p>避難の状況判断が自らできて、行動できるように理解させる  非常持出し品は日頃から備えて置く。 「イザッという時は率先して行動出来る」ように推進する。...減災に対し自ら判断し、行動できる人を沢山育てる。</p>

## 事業の目標

\* の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また、目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。

### 1、開催地区との対話の継続

三か月に一回は対話を実施して悩みや相談に応じる(3~4回/Y)

### 2、開催地は依頼地域が60%にしたい

例・5つの地区で開催地域があれば3地区から講演依頼を望みたいものです。

### 3、5年間同じテーマで進めて来ました。

その集大成として倉敷市の自主防災組織率60%を目指します。

(33.4%からスタート)

## 事業計画書(その 2)

## 事業の詳細

\*実施時期, 場所, 対象者, 内容, 特徴や重点事項など, できるだけ内容を明確にしてください。

- 1.市内 5 ブロック(玉島、船穂、児島、倉敷、水島)を均一にせず、積極的に依頼のあった地域などへ参加して行きます。  
地域の依頼に対して、柔軟に対応したカリキュラムを進める。

講座は 5 月から始め 土、日曜日のいずれかの休みを活用する。

講座の時間 午前 9 時から 12 時の 3 時間で納める。

講座の内容 (地域重視とするが)基本は、

- ・ 1 時間は防災危機管理室による「その地域性にあった防災講座」
- ・ 1.5 時間は災害 VC 連絡会による「炊き出しの実習と、試食」  
炊けるまでの時間を利用して(飽きさせない)

地域の皆さんに自主防災組織の大切な事と、減災への対応について、学びます。

対象者 市民のみなさん

最終年は 人数にはこだわらず、しっかり学んで頂く  
(とは言っても最低 30 名は確保したい)

- 2.会費の負担について

依頼地域や住民の皆さんには運営費の一部負担をお願いして行きます。  
(最低一割を頂きます。)

- 3.市外へ防災視察

自分の地域が防災についてどのような取り組みが必要か?などヒントになる様な視察先を調べ、防災への理解者を増やす取り組みをします。

受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費等を徴収してください。

\*参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する ・ 徴収しない

\*「徴収しない」とした場合、その理由を記入してください。

## 事業計画書(その 3)

**事業の見通し** \* 2年後, 3年後といった将来, 事業をどのように展開させていきますか。

色々な地区からの講座依頼が出て来る様になりました。

隣の地区でやったのに、「自分の地区は何も出来ていない」という良い意味での(あせり)連鎖反応からも出てきました。

この様に波紋が広がり、さらに相乗効果を期待しています。

**団体の能力の活用**

\* 団体の持つ能力や特色を, 課題の解決にどう活かしていきますか。

被災地から直接見て、聞いた(教えて頂いた)生の声から災害発生の状況をしっかり伝えつつ、対応と自主防の必要性を訴えて行きます。

講座は、防災危機管理室との連携を継続して行きます。

**他団体等との協力**

\* 他団体等と協力して事業を行う場合は, その団体名や役割を記入してください。

倉敷市ボランティア協議会との連携を取り、参加者の要請依頼をします。

地区自主防災会、コミュニティへも、講座や参加者の動員要請する。

社会福祉協議会からの受付などの依頼や動員もお願いします。

**行政との協働 自主事業部門の団体は記入不要**

主となる部署名 ( ) 主部署の同意 ( あり ・ なし )

その他の部署名 ( , )

**協働する部署との協議**

月 日 (内容: )

月 日 (内容: )

月 日 (内容: )

**協働する部署の役割**

## 予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	31,000	参加団体より一割徴収 (不足分は会費で)
会費からの繰入金		
その 他		
市補助金	278,000	
合 計	309,000	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	項 目	金 額	内 容
経費 (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)		
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)		
	謝 金 (講師等に支払うもの)		
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)		
	消耗品費	52,000	猫袋 20,140 円 米 13,200 円など
	印刷製本費	54,000	パンフレット代 50,000 円 コピー代など
	通信運搬費	9,000	ハガキ 5,200 円 切手 4,100 円
	保険料	12,000	行事保険 2800×4 視察研修 1400 円
	使用料, 賃借料	22,000	プロパン代 10,000 円 配達料 10,000 円
	委託料	160,000	大型バス一台
	小計	309,000	
経費 (対象外経費)	報償費・人件費		
	食糧費		
	その他		
	小計		
合 計	309,000		

(記入上の注意)

団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。  
 実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。  
 内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)  
 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。  
**金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。**